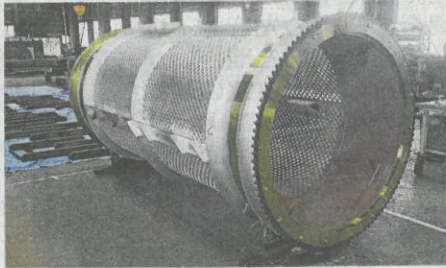


# スウェーデン製特殊鋼

# 一貫加工で販売強化へ

金属部品・産業機械製造の共和工業所（倉敷市松江）は、スウェーデン製特殊鋼「ハルドックス」の加工販売事業を強化する。ハルドックスの認定加工業者は同社を含め国内3社のみ。耐摩耗性に優れ、寿命の長い機械部品が造れることから受注が伸びており、新設備を導入し、一貫加工体制を整える。（伊東圭一）

## 共和工業所



ハルドックスで造った製鉄所用のスクリーン

今月末にも本社工場 資額は約5千万円。現在にはハルドックスを盤と角や溝部分を削り加工できる旋盤、フライス盤が各1台で、プレス台を兼ねた複合加工機1台を導入する。チャタンが追い付かない場合や、曲げ加工が必要な部品は、曲げ加工が可能な部品は、曲げ加工を指導した外部業者に委託。納期が2、3日余分にかかっている。新設備により自社で一貫して手掛けられるようになり、納期短縮が図れ、加工精度も高まるという。

ハルドックスはスウェーデンの特殊鋼大手「スウェーデンステイル社」（SSAB社）の製品。通常の鉄に比べ耐摩耗性は5〜25倍で衝撃にも強い一方、硬度が高い

## 長寿命機械部品 受注増見込む



ハルドックスの加工を手掛ける共和工業所の工場

分、細工が難しく、単純な形の部品に使われることが多い。

共和工業所は2009年（金網）といった複雑な形状の部品も製造している。SSAB社から加工法を学んで技術を高め、12年に認定加工業者に選ばれた。重機の外装パーツに増加。景気回復で国内製造業の生産が上向く中、工場設備向けなどでさらに受注増が見込めると判断した。現在は年間約9千万円のハルドックス関連の売上高を、2年後には1.5億円に引き上げる計画。

共和工業所は機械部品のほか、ベルトコンベヤーといった産業機械も製造しており、石本隆一社長は「今後は部品だけでなく、ハルドックスを主要部材に使ったコンベヤーなど独自製品も開発し、取引先を増やしていきたい」と話している。

同社は1955年設立。資本金6千万円。売上高約11億円（14年8月期見込み）。従業員54人。

# ICTで教育支援

## ベネッセH.D. 15年度から開始

ベネッセホールディングス（H.D.）岡山市末で授業の履歴や生徒がタブレット端末は販売技術と、教育に関する

ベネッセH.D. 15年度から開始

出資。東京に本社を置き、山崎昌樹ベネッセH.D.国内教育カンパニー学校本部長が社長を務める。ソフトバンクの通信

## メニュー 19日開業



ドコートの

所）に19日開業するフードコートの概要を発表した。店舗面積は487平方メートルで、座席数は162。全国でカフェ事業を手掛ける「カフェ・ド・クリエ」が運営する。

山陽SC開発は、岡山県内の中小メーカーが、フォークリフト製造のユニキャリア（東京）に技術を買取り、滋賀県近江八幡市の同社滋賀工場が開業した。

## ユニキャリアに岡山31社がPR 滋賀で商談会

約20社が出た。真力を出し、樹脂を渡す業者は、かな